

名古屋市立大学病院

病院長名	松川 則之
所在地	〒467-8602 愛知県名古屋市長区瑞穂町字川澄 1
交通案内	地下鉄：桜山駅下車3番出口 直結 市バス：「市立大学病院」または「市立大学病院」下車

□ 病院の特徴

当院は800床の病床、32の診療科を有し、地域の中核医療機関として日々安全で開かれた医療を提供しています。がん診療拠点病院や救命救急センターの指定・認定を受け、高度急性期病院・特定機能病院としての役割を果たすよう努めると共に、教育研究機関として優れた医療人の育成に努めています。また、令和3年には東部・西部医療センター、令和5年にはみどり市民・みらい光生病院、令和7年にはリハビリテーション病院が名古屋市立大学の医学部附属病院になり、全国最大規模の大学病院群となりました。令和8年度には救急災害医療センターの開棟を予定しており、より一層進化を続けております。

□ 研修プログラムの特徴

- ・ 地域医療の基幹病院である豊富な関連病院で十分な一般小児科診療を経験することができ、小児科専門医を取得できます。
- ・ 伝統に立脚した数多くのNICUで優れた指導医の下で新生児医療を学ぶことができます。
- ・ 大学病院でしか経験できない高度先進医療（血液悪性腫瘍、先天性心疾患、内分泌疾患など）を学び、研究に触れることで、小児医療の奥深さを学ぶことができます。
- ・ あいち小児保健医療総合センターと協力して専門医療の研修ができます（小児救急・集中治療、腎疾患、膠原病など）。

<研修モデル> 名古屋市立大学小児科専門研修プログラム

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	関連施設（一般病棟、NICU）											
2年次	関連施設（一般病棟、NICU）											
3年次	あいち小児/名市大 PICU 名古屋市立大学病院（一般病棟、NICU）											

詳細は名古屋市立大学病院総合研修センターHPを参照

http://www.med.nagoya-cu.ac.jp/kensyu-c.dir/specialist_prg/dept.html



新生児・小児医学分野のHPもご参照ください

<https://ncu-ped.com>



□ 主な連携施設

名古屋市立大学附属西部医療センター、同東部医療センター、大同病院、海南病院、あいち小児保健医療総合センター、聖霊病院、小牧市民病院、豊橋市民病院、蒲郡市民病院、渥美病院、旭ろうさい病院、岐阜県立多治見病院、一宮市立市民病院、市立四日市病院、星ヶ丘マタニティ病院、聖隷浜松病院、聖隷三方原病院、愛知医科大学病院（NICU）、知多厚生病院、いなべ総合病院、みよし市民病院、西尾市民病院など

□ メッセージ

小児科 部長 齋藤 伸治

子どもたちの総合医をめざすなら名古屋市立大学！



小児科医は子どもたちの総合医です。自立した小児科医になるには、新生児から思春期までのすべての疾患を経験することが必要です。名古屋市立大学小児科は豊富な関連病院・施設を有する全国有数の小児科です。伝統に優れる新生児医療から高度先進医療まで、名古屋市立大学小児科研修プログラムは皆さんの成長を支援します。

□ 募集要項

※名古屋市立大学病院で勤務する場合

・採用予定人数	数十人 ※全領域あわせの人数であり、領域別の詳細の人数は各プログラム責任者と相談の上決定
・給与／月額	357,900円～436,200円 (勤務区分・各診療科の外勤の状況により異なる)
・当直回数／月	4回程度（診療科により異なる）
・当直料／回	24,000円～34,000円
・その他	年間有給休暇20日間、通勤手当、超過勤務手当、共済組合、厚生年金保険、雇用保険、労災保険等あり
・応募連絡先	担当者 管理課 医療人連携・育成支援係 専攻医募集担当 電話番号 052-858-7527 Eメール s-kensyu@med.nagoya-cu.ac.jp